



# 上下水道局

予算総額 94,561百万円

(対前年度 +3.0%)

収益的収入 50,729 百万円

収益的支出 52,293 百万円

差引 ▲1,564 百万円

単年度資金収支 ▲2,695 百万円

上下水道局では、令和3年3月に策定した「上下水道事業基本計画 2030（計画期間：令和3～12年度）」及び「上下水道事業中期経営計画 2025（計画期間：令和3～7年度）」に基づき、着実に事業を推進するとともに、経費節減や増収対策など、経営基盤の強化に努め、「お客さまに信頼される上下水道」を目指します。

具体的には、上下水道施設の長寿命化や改築・更新、災害対策などに取り組むとともに、本市の持つ高い上下水道技術を国内外で活用し、上下水道事業の発展的広域化や国際貢献の推進に取り組みます。

(単位：百万円)

	当初予算額		収益的収支			単年度 資金収支
		前年度比	収入	支出	差引	
水道事業	35,788	+3.7%	20,144	21,141	▲997	▲1,388
水道用水供給事業	1,564	+28.5%	903	898	5	20
上水道事業	37,352	+4.6%	21,047	22,039	▲992	▲1,368
工業用水道事業	4,587	+18.7%	1,988	1,916	72	▲668
下水道事業	52,622	+0.7%	27,694	28,338	▲644	▲659
計	94,561	+3.0%	50,729	52,293	▲1,564	▲2,695

## 【令和6年度予算の基本的な考え方】

〔新〕：新規事業、〔拡〕：拡充事業

### 上下水道施設の強靱化 当初予算額 21,141百万円 (対前年度 +5.1%)

長期的な観点から施設規模や機能の最適化を図りながら、更新時期を迎える上下水道施設の長寿命化、改築・更新に取り組むとともに、豪雨や地震といった災害に強い上下水道施設の整備などを進め、市民の生活を守ります。

- ・上下水道施設の長寿命化と改築・更新
- ・豪雨対策の拡充・強化
- ・震災対策の拡充・強化
- ・危機管理体制の充実・強化

### 環境負荷の低減 当初予算額 439百万円 (対前年度 ▲74.7%)

水環境の向上や、資源の有効利用などによる環境負荷低減を推進します。

- ・水質監視強化
- ・省エネルギーの推進
- ・〔新〕下水道資源の有効活用

### 国内外への貢献 当初予算額 1,604百万円 (対前年度 +12.5%)

北九州都市圏域の中核都市として、上下水道事業の発展的広域化や、SDGsの達成に寄与する国際貢献の取り組みを推進し、併せて、本市職員の技術力・実務能力の向上も図ります。

- ・多様な広域連携の推進
- ・外郭団体等との連携強化
- ・海外事業の展開

### DXの推進 当初予算額 12百万円 (対前年度 ▲71.1%)

- ・衛星画像とAIを活用した漏水調査
- ・工事立会受付WEBシステムの活用

## 1 令和6年度 予算規模

(単位:百万円)

	令和6年度 当初予算案(A)	令和5年度 当初予算(B)	増減 (A) - (B)
上水道事業会計	37,352	35,722	1,630
工業用水道 事業会計	4,587	3,866	721
下水道事業会計	52,622	52,243	379
合計	94,561	91,831	2,730

## 2 主要施策

### 「稼げるまち」の実現 ～人も企業も潜在力を開花できるまち～

#### インフラシステムの輸出による海外ビジネス展開 【173百万円】



アジアを中心とした国や地域における国際技術協力にビジネスの視点を取り入れるため、国際技術協力を通じた相手国との信頼関係を維持し、官民※が連携した海外水ビジネスを展開



※北九州市海外水ビジネス推進協議会  
会員企業の累計受注実績は、平成22年以降、約240億円(上下水道事業合算)

新規

#### 行橋市・苅田町への水道用水供給事業の拡大等による広域連携の推進



【204百万円】

- ★行橋市・苅田町への拡大
- ★古賀市・宗像地区事務組合への供給量の増量



経営基盤強化



※本市水道事業の固定費負担軽減額は、令和18年度以降、年間約1.9億円

# 「稼げるまち」の実現 ～人も企業も潜在力を開花できるまち～



新規

## 下水道資源の有効活用

【30百万円】

### 下水道資源の肥料利用

★スラグを用いたリン回収技術など



#### ◆リン回収技術の特長

- 簡素なリン回収プロセス
- 鉄鋼・下水からリンを同時回収

↓  
**高付加価値**

※日鉄エンジニアリング(株)と共同

- ・肥料化のコスト
- ・重金属などの安全性
- ・農業者、消費者の理解
- ・地域内需要・販路

- ・肥料登録、試験栽培
- ・品質、安全性の検証
- ・農業関係者との信頼関係
- ・配合肥料として販路展開

北九州発の  
SDGs肥料

### 下水道処理水の活用の検討

★企業ニーズ調査、施設整備の検討など

浄化センターから放流している下水道処理水を有効活用するため、企業ニーズの調査や、施設整備の検討などを行う。

浄化センター

下水道  
処理水

市内企業

雑用水

「安らぐまち」の実現 ～誰もがつながるアットホームなまち～

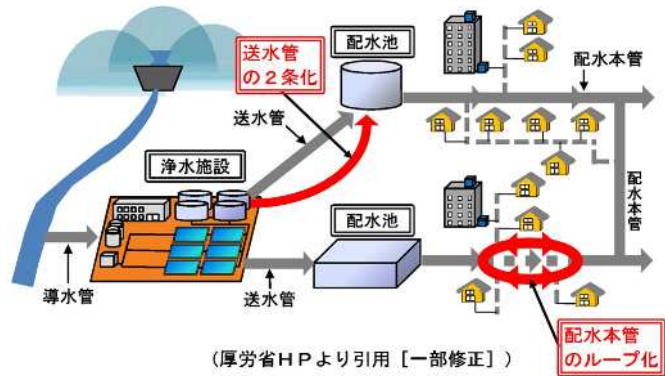


上下水道の地震等対策推進事業

【8,374百万円】

バックアップ機能の強化  
(206,290千円)

- ★八重洲分岐～城野分岐送水管の2条化
- ★井手浦系配水本管のループ化



水道管路の耐震化  
(5,529,200千円)

浄水場・配水池の耐震化  
(295,290千円)

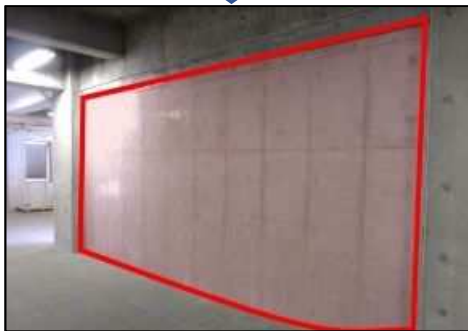
- ★更新に合わせた耐震化



浄化センター・ポンプ場の耐震化  
(250,000千円)

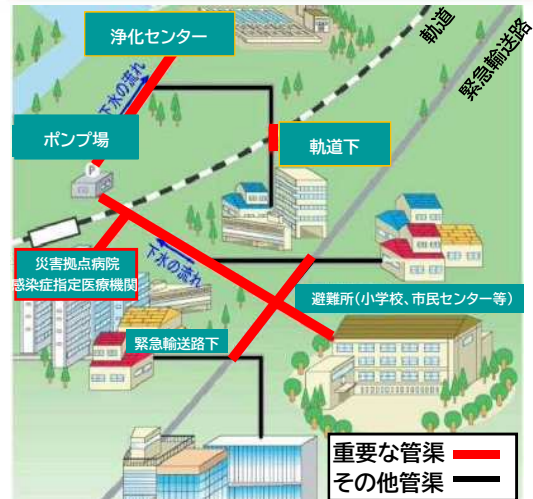


補強前 (耐震診断により補強箇所を選定)



補強後 (中空部に耐震壁を設置)

下水道管渠の耐震化  
(2,093,000千円)



重要な管渠の耐震化

既設管内部を  
全面補強



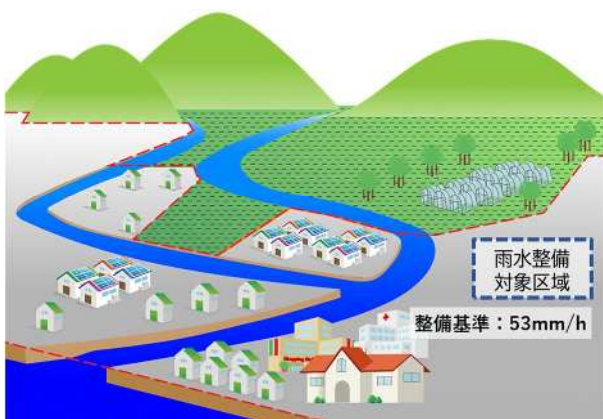
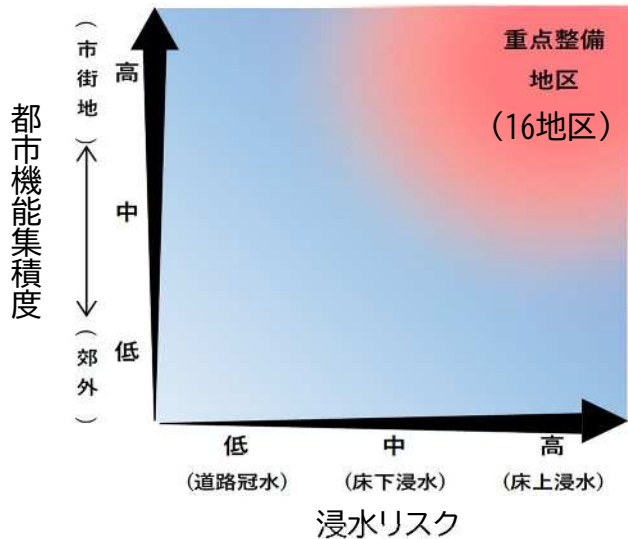
浸水対策事業の推進

【2,828百万円】



豪雨対策の拡充・強化  
(2,827,986千円)

局地化、集中化する豪雨から市民の生活を守るため、**重点整備地区(16地区)**を中心に、効果的に施設整備を進める。



雨水管の整備



調整池の整備

### 3 主な事業

#### 「稼げるまち」の実現 ～人も企業も潜在力を開花できるまち～

##### ●稼げる「基盤」をつくる

- ・響灘地区等の需要増に伴う工業用水道施設整備 1,038百万円

響灘地区における工業用水の需要が増加するため、令和7年度供用開始を目指し、令和4～6年度で本城浄水場内の施設整備及び配水管φ900の整備を約1,000m実施

- 新規** ・行橋市・苅田町への水道用水供給事業の拡大等による広域連携の推進 204百万円

行橋市・苅田町への水道用水供給の拡大及び古賀市・宗像地区事務組合への供給量の増量により、各事業者の経営基盤を強化

##### ●稼げる「産業」をつくる

- ・インフラシステムの輸出による海外ビジネス展開 173百万円

アジアを中心とした国や地域における国際技術協力をビジネスの視点を取り入れるため、国際技術協力を通じた相手国との信頼関係を維持し、官民が連携した海外水ビジネスを展開

- 新規** ・下水道資源の有効活用 30百万円

下水汚泥の肥料化や下水道処理水の活用の検討など、下水道資源の有効活用の取組を実施

#### 「安らぐまち」の実現 ～誰もがつながるアットホームなまち～

##### ●生活基盤の「安心」を支える

- ・上下水道の地震等対策推進事業 8,374百万円

地震等の災害被害を最小限にし、早期に機能回復が図れる災害に強いライフラインを構築するため、老朽化した施設の耐震改修を実施

- ・浸水対策事業の推進 2,828百万円

近年の集中的な豪雨に起因する浸水被害を最小化し、浸水に対する安全度の向上を図るため、雨水管等の整備を実施

【問合せ先（全体に関すること）】

上下水道局 経営企画課

丸谷（課長）、佐藤（係長）

TEL 093-582-3137